



⑧ 成田空港「エアポートシティ」[※]構想 ^{ナリタ}～NRTエリアデザインセンターの開設～

※「エアポートシティ」の名称については、現在公募手続き経て、検討中

- ▶ 更なる航空需要の創出や日本の経済発展、国際競争力の強化を図るため、国際的な産業拠点の形成など、エアポートシティの実現に向けた取組を強力に推進していくことを目的として、令和7年4月、**県と成田国際空港株式会社による新たな組織**を設立。

■ 組織名称

^{ナリタ}
NRTエリアデザインセンター (NRT Area Design Center)

■ 当面の実施業務

- ① 成田空港「エアポートシティ」構想の策定
(ビジョン・アプローチ・ゾーニング・ロードマップ・推進体制)
- ② 空港を核とした地域公共交通ネットワーク構築に向けた取組
- ③ 産業拠点の形成に向けた取組
- ④ 成田空港「エアポートシティ」実現に関係する市町のまちづくりに対する支援
- ⑤ 成田空港「エアポートシティ」のPR・広報に関する業務
- ⑥ 民間事業者等との連携に関する業務





⑧成田空港「エアポートシティ」構想（１）

成田空港「エアポートシティ」構想①

ビジョン “誰もが輝き、世界と響き合う「フラッグシップ・エアポートシティ」”



CONCEPT

- 成田空港の国際競争力獲得、日本の成長戦略を牽引する**重要な国家プロジェクト**
- 世界の活力を取り込み、我が国、成田空港、周辺地域が本来有する**ポテンシャルを最大限に発揮**
- 世界をリードするモデル都市圏へ**の変貌



FUTURE

- 世界で日本を輝かせ続けるフラッグシップ・エアポートシティへ
- 次世代産業育成・DX活用等による活力創出
- 国際産業拠点形成、日本で最も国際的なまち
＝**未来志向型エアポートシティ**
- 空港地域固有の**アイデンティティ・景観形成**

アプローチ

ビジョンを実現するための“４つのアプローチ”

産業・イノベーション

- 世界水準の**航空・先端産業クラスター**形成
- 医療・農業・観光の、空港を核としたグローバル拠点化**
- 物流の効率化・高度化** ○規制緩和・制度導入

ウェルビーイング

- 空港と高度産業を支える**人材育成・集積**
- 選ばれる魅力的な**居住エリア・景観・コミュニティ**形成
- 里山・田園・海・川と共生する**新たなライフスタイル**
- グローバルで高質な**教育環境整備**

交通・モビリティ

- 複合的な広域幹線**道路**ネットワーク整備 ○**鉄道アクセス**の充実
- 周辺のまちづくりを踏まえた**効率的な地域公共交通**の実現

ダイバーシティ・サステナビリティ

- 誰もがその人らしく生きる・分かり合える地域社会**の実現
- 空港と地域で**環境に配慮した統合的取組**を推進
- 空港を核とした防災拠点**の確立



⑧成田空港「エアポートシティ」構想（2）

成田空港「エアポートシティ」構想②

ゾーニング

5つのエリアが連動して**世界をリードする空港都市圏**を形成

▶ 成田空港を中心に首都圏・北関東を巻き込む**広域経済圏**を創出し、ヒト・モノ・情報・資本が交錯するダイナミックな日本の成長エンジンに

歴史的な水運文化と醸造文化を生かした産業・生活拠点

佐原の街並み、香取神宮、水辺の風景、醸造文化などの歴史的な地域資源を生かし、観光・交流・農業が共存するエリアを実現。

新しい成田空港を中心とするエアポートシティのコア

空港至近の立地特性を生かし、国際産業・物流拠点として整備。高アクセス性を武器に、先端産業・人材・研究機関の集積を進める。

市街地再生と文化的資源の調和を目指す新たな経済交流拠点

成田山新勝寺や既存商業地・住宅地などの地域資源を基盤に、都市機能の再編と観光・アクティビティ資源の融合を図る。

海辺・水辺の文化を生かした新たな観光の推進拠点

日本を代表する砂浜海岸である九十九里浜の景観や地域資源を生かすとともに、世界から注目される誘客施設の整備等、リゾート交流拠点としてブランド化を進める。

自然と調和したエコロジカルな暮らしを実現する生活拠点

豊かな農産物と地域文化を軸に、自然と調和した健康でゆとりある暮らしを実現し、子育て環境にも恵まれた生活拠点を形成。

リバーサイドエリア

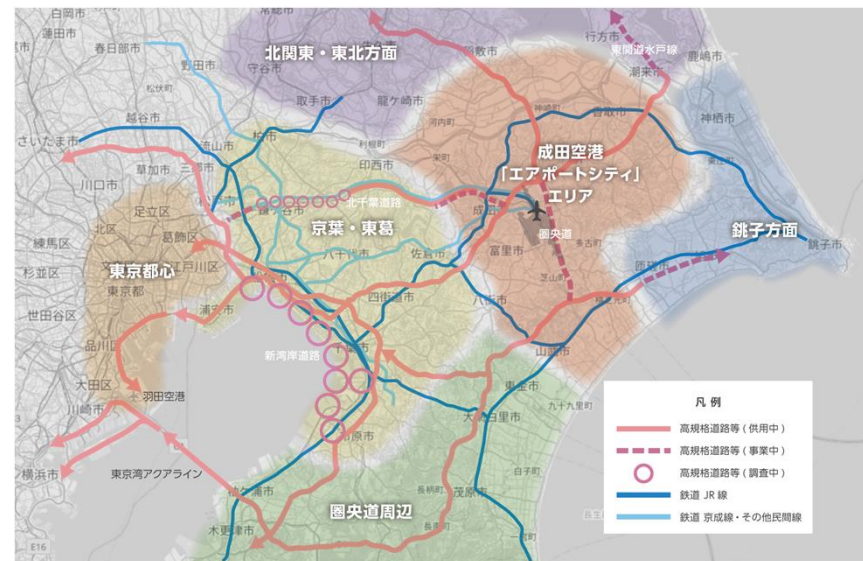
ナチュラルライフエリア

アーバンエリア

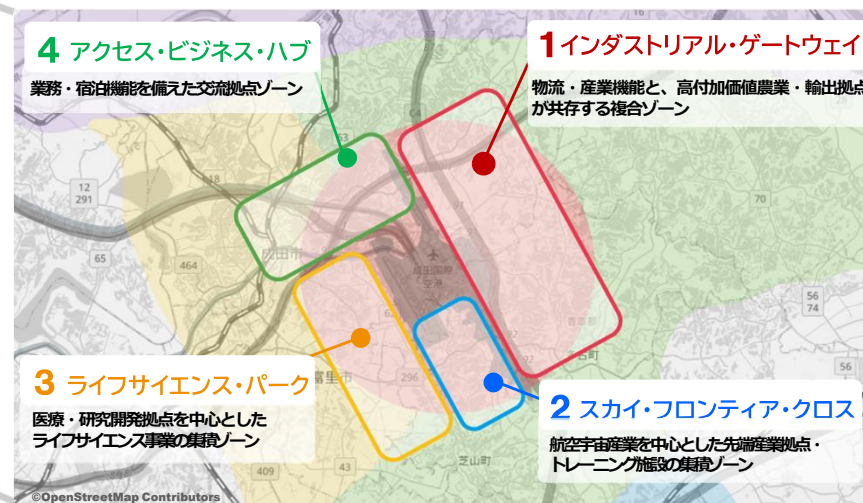
エアポートエリア

シーサイドエリア

● 空港を中心として首都圏・北関東を巻き込む**広域経済圏**に



● エアポートエリア内の4ゾーンが連動、空港と地域の成長を牽引



ロードマップ・推進体制

- 構想実現に向けて、①**構想期**、②**実行期**、③**展開期**、④**定着・持続期**の4段階の**フェーズ**を設定
- 各ステークホルダーが主体的・積極的に参画し、**産官学が有機的に協働・連携**する推進体制を構築